

小学生オンライン交流会 報告書

1 目的

青梅市の将来を担うこどもたちが、それぞれのテーマについて他校との意見交換・交流を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、こどもたちの声を市政運営に反映させることを目的として開催する。

2 日時

令和5年7月24日（月）

午前9時30分から午前11時30分まで

3 会場

各学校間と市役所で実施（オンライン開催）

4 参加児童

小学校16校（東小学校除く） 66名

5 実施概要

(1) 当日スケジュール

第一部

9 : 30	開会	2分
9 : 32	説明・注意事項	3分
9 : 35	グループごとに意見交換	40分
10 : 15	休憩	10分
10 : 25	発表（各グループ3分以内）	30分
10 : 55	市長・教育長講評	5分
11 : 00	閉会	2分

第二部

11 : 05 ~ 11 : 20	交流会（感想・意見交換）	15分
11 : 20 ~ 11 : 30	市長への質問タイム	10分

(2) 当日の役割分担

全体司会…第三小学校

開会挨拶…河辺小学校

閉会挨拶…友田小学校

グループリーダー・発表…「7 テーマ」の網掛けの学校

6 オンライン交流会で話し合う内容

(1) 「7 テーマ」のグループごとに、各校2名ずつに分かれる。

(2) 事前に各校で話し合ってきたワークシートをもとに意見交換を行う。

(3) グループで話し合ったことを3分間で発表する。

7 テーマ

テーマ	小学校
「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」	第一小、第五小、河辺小、今井小
	第二小、第六小、新町小、若草小
	第三小、第七小、霞台小、藤橋小
	第四小、成木小、友田小、吹上小
「みんなが住みたい、より良いまちにするために」 視点①ゼロカーボンシティに向けた取組 視点②こどもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり	第一小、第三小、第七小、今井小
	第二小、第四小、成木小、若草小
	第五小、河辺小、友田小、藤橋小
	第六小、新町小、霞台小、吹上小

8 発表内容

(1) 「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」

ア 様々な意見が出ました。大きく分けて2つのことです。

1つ目は、環境面です。怪我をしないために遊具や曲がり角の工夫、机を広くし、学習をしやすくする。データ化をし、教科書を無くしていく。体育着など空調を整え、学習しやすいようにするなどがあります。

2つ目は、学校と私たちが意識することです。学校でいじめアンケートがあります。それを全体に説明していくことです。グリーンリボン運動です。グリーンは「ほうれんそう」という意味でしっかり伝えていくことが大切だと意見がでました。

イ 2つの意見がでました。一つ目は、いじめがなく楽しい学

校、2つ目は挨拶ができる学校です。こう思った理由はいじめがあることで不登校になってしまう人がいるから、そして楽しい学校にすることでいじめが少なくなると思ったからです。

そして挨拶を増やすことで、コミュニケーションがとれ、明るい学校にすることができると思いました。

挨拶、いじめを呼びかけるポスターを作る、学校の遊具を増やす、悩みアンケートを実施する、他の学校との関わりを増やすという意見がでました。学校同士での関わりを増やすのは特に中学校が同じ小学校同士であることで中学校での不安が減ると思いました。

ウ 第三小学校では主にみんなで協力する悪口やいじめがないことを目指し、挨拶運動に力を入れるという発表がありました。

市には、市全体で挨拶運動を進めていきたいという発表がありました。

霞台小学校では主に、安心、安全、自由がテーマで不審者に対する防犯についてや、学校ルールに自分たちの意見も取り入れてほしいという発表がありました。

市には集団下校にボランティアの人も協力してほしいという発表がありました。

藤橋小学校では、安全できれいな学校を目指しているそうです。理由は怪我をする人が少なくなること为目标にしているようです。市にはエアコンを体育館に設置してほしい、歩道の幅を広くしてほしいというものがありました。

第七小学校では、全校みんなが協力しあって学校の全員と仲が良く深まることを目指しています。

吹上小学校では、コミュニケーションを大切にしているので、全校が全員の名前を言えるほど仲が良かったです。

エ より良い学校にするためには、性別関係なく受け入れること、「ジェンダー平等推進計画」をこどもにもわかりやすく説明することを青梅市の市長さんなどにやってもらいたいです。

それに、机を広くすることも大事だと思いました。あと、通学路を広くすることも大事という意見もでました。学校も各階にひとりでいる部屋を作るという意見もでました。それに網戸をつけてその網戸を掃除することも大事だと思いました。

(2) 「みんなが住みたい、より良いまちにするために」

ア 視点①海面上昇や異常気象、強力な台風の出現などの影響がでてくるとの意見がでてきました。

それを解決するために、このような意見がでました。二酸化炭素の排出の少ない、バス、電車などの公共交通機関を使う、電気自動車、ハイブリッド車などを市で推進してもらいたい、それから植林をする。林業の活性化やソーラーパネルの設置をしたら良いなどの意見がでました。ほかにもエネルギーの活用においてはまだ課題がありそうです。

視点②みんなが安心して過ごせるためにバリアフリーの対策や歩道の整備、ラジオ体操広場など交流する場、助け合いをする意見がでました。

追加の意見では、高齢者が買い物をするときにカートをバス停まで運べる工夫やカートを寄付することや、聴覚障がい者のために市民センターなどに手話ができる人を配置してもらいたいという意見がでました。

イ 給食を残さず食べること。家であまり電気を使わないようにすること、自転車の貸し出しをして、あまり電気やガスを使わないようにすること、木を植えて緑を増やすことなどが大切だという意見がでました。

視点②誰とでも挨拶をしてコミュニケーションを深めると、老人ホームや点字ブロック、バリアフリーなどを増やしてみんなが住みやすいようにすることが大切だという意見がでました。どちらにも共通しているのは人が関わっていることです。相手や自然に思いやりの気持ちを持って、人が動いていくことが何より大切だと考えます。

自分たちが身近なところからはじめ、続けていくことを大切にして素敵な青梅市を作っていきます。

ウ 視点①北極や南極の氷がとけないために植物を増やしたり、ガスを減らしたほうが良いという意見がでました。

視点②こどもも若者も高齢者にも遊べるところを作った方が良いと思います。

エ 視点①森を作ったり学校行事で木を植える、みんなでやることは、節電をする、また使わない時にエアコンを消す、ゴミの分別をする、電気自動車を使う、植物を家に植えるなどの意見がでました。

植樹については学校や家でも取り組めるという意見がでました。また、節電はエアコンの1度上げ下げするなど具体的に伝えていくことが大事だという意見がまとまりました。

視点②まちをバリアフリーにする、例えば、点字ブロック、段差を減らすなどの意見がでました。

そして救急車を増やす、多くの場所にミストを置く、これは熱中症対策にもなるし、地球温暖化対策にもなるからです。

特に出たのは、電車の本数を増やすです。その中でも優先席を増やすなど、ポスターを作り高齢者に席を譲るという意見がありました。

9 学校アンケート

(1) アンケート回収状況

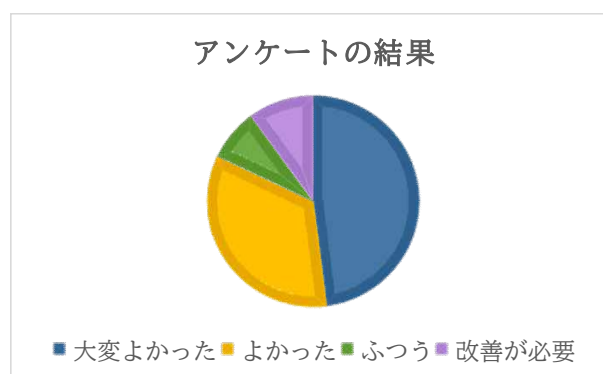
【全体】50名

大変よかった…24名

よかった…17名

ふつう…4名

改善が必要…5名



(2) 令和5年度「小学校オンライン交流会」における各小学校からのテーマ発表について

ア 児童

- ・他の学校と意見交換してみんな市のために考えているんだなと思った。
- ・皆一人ひとりが自分の意見をもって発表していて、とても共感のできることばかりだった。

- ・各小学校がより良い学校にするため話し合い、話し合った事が実現し、解決すると良い。
- ・言った意味がうまく伝わっていなかった。発表のスピードがはやかった。
- ・色々な学校の方たちの意見が聞けてとても良い経験になった。

イ 学校関係者

- ・自校の児童の良さ（こういった場でも意見をもち発表できる姿）を再確認したり、発見できたりして良かった。
- ・2つめのテーマは、この交流会のために学習する必要がある内容で、学期末の忙しいこの時期に準備をするのは大変厳しかった。
- ・児童同士で意見交換をする場があまりないため、オンラインというかたちでも、そのような場を設定できたことが良かった。
- ・こどもたちが意見を聞いた後、じっくりと考える時間を与えてあげたい。せっかくの意見が「〇〇してほしい。」で終わってしまい、それが実現できるとどうなるかという、「市に動いていただく理由」が伝えられずに終わってしまっている。
- ・こどもたちも実際に自分の意見が市政に反映されていることを実感することができたら、より嬉しいと思う。（実現した意見などのフィードバック）

(3) 自由意見

ア 児童

- ・次も機会があればたくさん発表、発言したい。自分たちの願いが叶ってほしい。
- ・こういう機会を増やしてほしい。
- ・最初は緊張していたけど、後になればなるほど、どんどん楽しくなっていき、緊張が消えていった。
- ・サッカースタジアムを作っていただくと大変うれしい。
- ・普段交流する機会が少ないので色々な学校の人や市の人々

と交流できる児童館を作ってほしい。

- ・学校ごとで色々な意見が出たから、より良い青梅になると思う。

イ 学校関係者

- ・テーマ2は視点が2つあり、意見の集約が大変そうだった。1つのグループにつき、1テーマ（1視点）の方が良い。こどもたちも楽しそうに生き生きと意見交換をしていたので、とても良い取組だと思う。
- ・classroomに入室するなら、学校管理アカウントで入ったほうがわかりやすい。学校によって、最後の全体交流が1箇所の端末に集まる学校と、複数の端末に分かれて聴く学校があるので、学校毎に1まとまりで聴くと決めておくが良い。
- ・せっかく全校が集まっているので、可能であれば、児童間の交流を増やしたい（アイスブレイクなど）。
- ・中学校との交流をさせたい。（中学校区でやると、なお交流としての意義があるのでは。）
- ・市長への質問時間をもう少し長くともってもらえると良い。
- ・オンライン開催であれば夏休み中ではなく学期中でも可能ではないかと感じた。（こどもたちそれぞれに予定があるため。）
- ・市長や教育長が視聴している中、各学校の最上級生がより良い学校や市に対しての考えを発表し合えることは、とても貴重な機会であり、とても良かった。実際に市長や教育長にも質問ができて、児童はとてもうれしそうだった。今後も続けてほしい。
- ・こどもたちがグループ協議の司会や発表をするのは良いと思うが、市長や教育長へ講評をお願いする部分などの全体の進行などは、教育委員会（指導主事）が行ったほうが良いのではないかと感じた。
- ・是非代表児童がリアルに集まった小学生交流会の実施を希望したい。オンライン開催の良さもあるが、対面で、ディ

スカッションする体験もしてほしい。

- ・学校名がわかると司会者が進めやすいので、各校で黒板や紙に書いて見えるように工夫すると良い。
- ・ねらいにある通り、昨年度話したものが、市政にどう反映されたか、きちんと報告をしていただきたい。どうなったのかを児童に説明ができず、現実味がわからない。